

過去問 社会福祉

12月17日

問1 次の文のうち、ソーシャル・インクルージョンに関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A ソーシャル・インクルージョンは、バリアフリーの概念に代わって、アメリカの工学研究者ロナルド・メイス（Ronald Mace）によって示された概念である。
- B ソーシャル・インクルージョンは、WHO 憲章における「健康」の定義の中で、「身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること」と記述されている。
- C ソーシャル・インクルージョンは、ノーマライゼーション思想とも共通し、社会福祉の理念として用いられる場合、すべての人がそれぞれの違いを尊重され、社会の一員として認められ、人権を保障されることも意味することが多い。
- D ソーシャル・インクルージョンは、抑圧され、本来持ちうる力が潜在化している状態に置かれている人々が、本来持っている力を発揮できるような機会を作り、その力を発揮できるよう支援することをいう。

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	○
3	×	○	×	×
4	×	×	○	×
5	×	×	×	○

- A × 不適切です。
ソーシャル・インクルージョンとは、社会的弱者を含む全ての人々が、健康で文化的な生活を送ることができるように社会の構成員が相互的に支える考え方のことです。社会的包摂とも訳されます。ロナルド・メイスはユニバーサルデザインを提唱した人物です。
- B × 不適切です。
1947年に採択されたWHO憲章では、前文において「健康」を「健康とは病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にもそして社会的にも全てが満たされた状態にあることをいう。と定義しています。」
- C ○ 適切です。
- D × 不適切です。
ソーシャル・インクルージョンではなく、エンパワーメントの記述です。

【ソーシャルインクルージョン】

ソーシャル・インクルージョンとは、「社会的包摂」とも訳され、その意味は「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という理念をいいます。この概念は1970年代のフランスにおいて、戦後の復興や福祉制度が整備されつつある状況の中で、その中においてさえ、なお社会的に排除されている状態のことを「ソーシャル・エクスクルージョン」と呼んだことが発端です。その後1980年代に入り、ヨーロッパ全体で若者の失業が問題視され始めたとき、この「ソーシャル・エクスクルージョン」という言葉が注目され、同時にその対語としての、「社会的包摂：ソーシャル・インクルージョン（social inclusion）」という言葉が生まれました。イギリスやフランスなどのヨーロッパ諸国においては、近年の社会福祉の再編にあたっての基調理念ともされるものです。つまり、ソーシャル・インクルージョンという言葉は、ソーシャル・エクスクルージョンという言葉から端を発した、今日的な格差の問題や課題を広く含んだ概念なのです。

わが国でも2000年12月厚生労働省において「社会的な援護を要する人々に対する社会福祉のあり方に関する検討会報告書」としてまとめられ、社会的弱者（社会的排除）に対処する政策課題のひとつとしています。（後に、教育現場でもインクルージョンと呼ばれる言葉に発展していきます）社会的弱者とは社会的格差の対象となる人たちを含み、移民、貧困者、高齢者、女性、子供、非正規雇用者、住まい、地域によるものであり、当然のことながら障害者も含まれます。（ソーシャル・インクルージョンは、本来、障害者だけを対象とした言葉ではありませんでした）

このソーシャル・インクルージョンは、ノーマライゼーションを発展させた概念だと言われます。ノーマライゼーションは「障害をもつ人も、もたない人も、地域の中で普通に、当たり前で暮らせる社会」にしようとしたのに対し、ソーシャル・インクルージョンは「さまざまな個性を持つ人を、その多様性を含めて個性として、そのまま社会の中に包摂すること」としています。これは「それぞれの個性が十分に尊重されるような多様な価値観を許容することのできる社会である」ということを前提に、誰も差別されたり排除されたりしない相互共生的な社会が構築されることが重要であるという考えに立っており、真のノーマライゼーションの姿ともいえます。

問2

次の文は、1950（昭和 25）年の社会保障制度審議会（現、社会保障審議会）の勧告に基づいて、日本における社会保障と社会福祉の位置づけを説明したものである。（ A ）～（ C ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

社会保障制度とは、疾病や障害、老齢や失業などの困窮の原因に対し、（ A ）または公の負担で経済保障を行う。また、生活困窮に陥った者に対しては（ B ）によって最低限度の生活を保障する。加えて（ C ）によって子どもへの保育や障害者等への福祉サービスを提供し、公衆衛生とともに、すべての国民が文化的社会の成員としての生活を営むことができるようにする。

1	A:保険的方法	B:国家扶助	C:社会福祉
2	A:保険的方法	B:地域保健	C:社会福祉
3	A:保険的方法	B:社会福祉	C:地域保健
4	A:社会福祉	B:保険的方法	C:地域保健
5	A:社会福祉	B:国家扶助	C:保険的方法

社会保障制度とは、疾病や障害、老齢や失業などの困窮の原因に対し、（ **保険的方法** ）または公の負担で経済保障を行う。また、生活困窮に陥った者に対しては（ **国家扶助** ）によって最低限度の生活を保障する。加えて（ **社会福祉** ）によって子どもへの保育や障害者等への福祉サービスを提供し、公衆衛生とともに、すべての国民が文化的社会の成員としての生活を営むことができるようにする。

※ 別紙資料あり

問3

次の文のうち、**2000（平成12）**年の「社会福祉法」の成立前後に関連する社会福祉体制の見直しに関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所および母子生活支援施設の措置制度が廃止された。
- B 介護保険制度が導入された。
- C 子どもの権利の明確化、社会的養護の大幅見直しを含む「社会的養育ビジョン」が示された。
- D 社会福祉の供給主体が、地方公共団体、社会福祉法人中心から、特定非営利活動法人や企業など民間へも拡大することが進められた。

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	○	○	×	○
4	○	×	○	○
5	×	○	○	○

回答 3

- A ○ 適切です。
- B ○ 適切です。
- C × 不適切です。 「あたらしい社会的養育ビジョン」が公表されたのは2017(平成29)年8月2日です。
- D ○ 適切です。

問4

次の文のうち、要保護児童、要支援児童に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A「児童福祉法」第6条の3第8項によれば、要保護児童とは「保護者のない児童又は保護者に監護させることが不適当と認められる児童」とされている。
- B「児童福祉法」第6条の3第5項によれば、要支援児童とは「保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童」とされている。
- C「児童養護施設入所児童等調査の概要（平成30年2月1日現在）」（厚生労働省）によれば、乳児院の入所理由は、保護者の死亡や行方不明によるものよりも、虐待によるものが多い。
- D 要保護児童、要支援児童へのかかわりは、乳児院、児童養護施設等で行われるので、保育所では行わない。

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	×

回答

1

- A ○ 適切です。
- B ○ 適切です。
- C ○ 適切です。

※保護者の死亡や行方不明によるものより、虐待によるものの方が多いですが、一番多いのは母の精神疾患です。児童養護施設入所児童等調査の概要(平成30年2月1日現在)は社会的養護頻出です。細かいところまで確認しておきましょう。

- D × 不適切です。

「児童福祉機関」「教育機関」「保健医療機関」「警察・司法機関」が子どもや保護者の情報や考えを共有し、適切な連携のもと地域で要保護児童・要支援児童と家族を支えています。

問5

次の文のうち、社会福祉における権利擁護に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A すべての児童福祉施設においては、サービスの質の向上に向けて、福祉サービス第三者評価事業が義務付けられている。
- B 「被措置児童等虐待届出等制度」において、保育所、認定こども園はその対象とならない。
- C 成年後見制度には、「法定後見制度」と「任意後見制度」の2種類がある。
- D 社会福祉事業の経営者に対して「苦情解決責任者」「苦情受け付け担当者」「第三者委員」の設置が求められ、適切な苦情解決に努めなければならないとされている。

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	○	×	○

A × 不適切です。

受審は任意ですが「すべての児童福祉施設」ではなく、「社会的養護関係施設(児童養護施設・乳児院・母子生活支援施設・児童心理治療施設・児童自立支援施設)」は平成24年度から3年に一度の受審が義務化され保育所では平成27年度から5年に一度の受審が努力義務とされています。

B ○ 適切です。

被措置児童等虐待届出等制度の対象施設は「里親・小規模住居型児童養育事業・乳児院・児童養護施設・児童自立支援施設・児童心理治療施設・障害児入所施設等・指定医療機関・一時保護所・一時保護受託機関」です。

C ○ 適切です。

D ○ 適切です。

過去問 子ども家庭福祉

12月17日

問1

次の文は、「児童福祉法」第2条の一部である。（ A ） ・ （ B ） にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の（ A ） の程度に応じて、その意見が尊重され、その（ B ） が優先して考慮され、身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

1	A ： 能力	B ： 幸福
2	A ： 能力	B ： 最善の利益
3	A ： 年齢及び発達	B ： 最善の利益
4	A ： 年齢及び発達	B ： 幸福
5	A ： 成熟	B ： 最善の利益

全て国民は、児童が良好な環境において生まれかつ、社会のあらゆる分野において、児童の(A 年齢及び発達) の程度に応じてその意見が尊重され、その(B 最善の利益) が優先して考慮され心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

児童福祉法第二条

全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

- ② 児童の保護者は、児童を心身ともに健やかに育成することについて第一義的責任を負う。
- ③ 国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。

問2

次のうち、人物と関連の深い事項の組み合わせとして適切な組み合わせを一つ選びなさい。

- A アダムズ（Addams, J.） — ハル・ハウス
- B バンク=ミケルセン（Bank-Mikkelsen, N.E.） — ノーマライゼーション
- C コルチャック（Korczak, J.） — 『児童の世紀』
- D ペスタロッチ（Pestalozzi, J.H.） — 『社会保険および関連サービス』

1	A	B
2	A	C
3	B	C
4	B	D
5	C	D

回答 1

A ○ 適切です。

B ○ 適切です。

C × 不適切です。
『児童の世紀』の著者はエレン・ケイです。

D × 不適切です。
『ベヴァリッジ報告書：社会保険及び関連サービス』を作成したのはベバレッジです。

バンク・ミケルセンはデンマークの社会運動家で、ノーマライゼーションを提唱し、社会省の行政官として知的障害者の福祉向上に尽力した人物です。「ノーマライゼーション」は弱者を社会的に保護する仕組みのことで、障害者が一般市民と同じように普通の生活を送り、同様の権利が保障されるように環境整備を目指す理念です。

ジェーン・アダムズは、貧しい人々の支援、平和主義、社会改革活動、また進歩的団体の指導者として、国際的に知られていた。そして、米国人女性として初めて、ノーベル平和賞を受賞した。彼女の最も有名な業績は、シカゴで**ハル・ハウス**を創設したことである。ハル・ハウスは、地域の労働階級移民のためのサービスを提供し改革の実験場ともなったセツルメント・ハウスの先駆けとなった。

問3

次の文のうち、放課後児童対策に関する記述として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「放課後児童健全育成事業」とは、小学校に就学している児童であって、保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業をいう。
- B 2014（平成 26）年に、文部科学省と厚生労働省が共同で「放課後子ども総合プラン」を策定した。
- C 「新・放課後子ども総合プラン」では、放課後児童クラブと保育所を一体的に、または連携して実施することを目指している。

	A	B	C
1	○	○	○
2	○	○	×
3	○	×	○
4	×	○	×
5	×	×	○

回答 2

A ○ 適切です。

B ○ 適切です。

C × 不適切です。

「新・放課後子ども総合プラン」は放課後児童クラブと「放課後子ども教室」の両事業を一体的にまたは連携して実施し、うち小学校内で一体型として1万箇所以上で実施することを目指しています。

※別紙資料あり